

# 三條別院のご案内

真宗大谷派三條別院

TEL : 0256-33-0007

E-mail : sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

## 三條別院に想う

▲今回は、三条声明会としてお取り越し報恩講をはじめ三条別院の法要・儀式に長く携わり、また二十三組の新組長に就任された中富氏に、執筆をお願いしました。

多くのお寺の子供さんがそうだと思いますが、得度考査で初めて別院を訪れることが多いと思います。

私も中学生の時に弟と二人、親に連れられて別院を訪れました。その時の事はほとんど覚えていませんが、九年前と六年前に自分の子供と得度考査を受けに子供と訪れた事を感慨深く感じました。

私は、二十年位前に別院で声明を教えているという事を知り参加しました。現在も実施している声明教室です。そこで当時の列座さんに本山で声明講習をやっている事を聞き、是非参加したい旨を伝えました。現在もそうですが人気の講習故に二年待たなければならぬという事でした。別院では、その間お取り越し報恩講での掛役をやらせて頂き、儀式、作法を教えて頂きました。本山での講習は本科二年別科二年の課程で声明の研鑽をします。そこでは普段の自坊での法務のお勤めはもちろん、本山、別院での報恩講に出仕する為

の声明を学びます。声明に興味を持ったきっかけは、遡る事二十五年前に、京都大谷専修学院に在籍時に体験した坂東曲との出逢いです。見たことも聞いた事もないインパクトの大きいお勤めでした。単純に自分もこれをやってみたいと思ったのです。その事を目標に講習を終えて、本山の報恩講に出仕して坂東曲を勤める夢が叶ったのです。実際お勤めしてみると、何とも言えない感動がありました。声をふり絞って念仏を唱えていると、今まで歩んできた人生の喜び苦しみ悲しみが呼び起こされるような感覚は、今も私の勇気になっている様な気がします。

教区では准堂衆として声明会に属しており、基本声明講習での、得度を受ける方や葬儀式のお勤めの指導をしています。その他、寺院の落慶法要等への出仕や法要の式事をしたりします。

私はこの度、組長の役を仰せつかりました。今年度は教区改編、慶讃法要があります。任期の三年間、組での行事の運営等をしつかりしていきたいと思えます。

### 中富 正純 氏 (第二十三組福照寺住職)

現在でも月一回、別院声明教室を開催しています。中央声明講習会を受講予定の方、普段の法務について研鑽したい方等、お気軽にご参加ください。初級コースもあります。



【お取り越し報恩講で御文を拝読する中富氏】

○次回の「三條別院に想う」は、

白鳥 賢氏 (第十五組本龍寺)

よりご執筆いただきます

▲次号は三條別院の立花講習会の担当をされている白鳥氏から執筆いただきます。正月から春彼岸の立花について、花材や立て方など、皆さん様々な工夫をされていると思いますが、立て方のコツ等について記していただきます。

**宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年  
立教開宗八百年慶讃定例法話会**

毎月十三日の闡如上人のご命日の定例法話会を宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃お待ち受け事業として昨年より継続しております。

**南無阿弥陀仏**

人と生まれたことの意味をたずねていく

◆二月の講師

渡邊 学 氏 (第二十二組明正寺)



◆日時 二〇二三年二月十三日(月)

午後一時三十分より  
午後四時三十分(勤行、座談あり)

※講師のご都合で、当初の予定から、一月・三月の講師が入替えになっておりますので、ご了承ください。

◆今後の講師

二〇二三年

- 三月 田澤 一明氏 (第十九組明誓寺)
- 四月 黒田 進 氏 (長浜教区満立寺)
- 五月 井上 円 氏 (高田教区浄泉寺)
- 六月 藤場 芳子氏 (金沢教区常讃寺)

**本山慶讃法要団体参拝募集**

◆期日 四月十四日(金) から十六日(日)

◆本山参拝日 四月十五日(第二期法要初日)

◆参加費 六八,〇〇〇円

本年三月二十五日～四月八日(第一期)、四月十五日～四月二十九日(第二期)まで宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要が厳修されます。三条別院では第二期法要の初日に向けて、各組・寺院の団参に申込できなかった方等を対象に、団体参拝を計画しております。今回参拝する**第一期初日法要は、雅楽入りの伝統法要式となっております**、さらに御影堂の**中央席を確保しております**。声明と雅楽が奏でる音声と共に耳を傾け、共にお念仏申す体験を試みませんか。そして御本山の参拝に加え、京都国立博物館の親鸞展や、親鸞聖人御誕生の地日野誕生院や法界寺にも参拝致します(予定)。皆様お誘い合わせのうえ、奮ってご参加ください。

詳細はチラシをご覧ください。



**三条別院子ども奉仕団について**

三条別院ではお釈迦様の誕生日(四月八日花まつり)、親鸞聖人の誕生日(四月一日)にあわせて、子ども奉仕団・お誕生法要を毎年開催させていただいております。感染症の影響により中止が続いておりましたが、感染予防に努め、規模を変更し開催させていただきました。

初めて会う友達と共に、お寺に触れていただくことで、「いのちの大切さ・本当の私」について考えられるような、楽しい奉仕団を目指しております。本年度のスローガンは「お寺であそぼう花まつり」です。ぜひご参加ください。

詳細はチラシをご覧ください。

◇開催日 四月二日(日)

◇対象 現在小学一年生～五年生の方  
(小学新二年生～小学新六年生)

◇会場 三条別院

◇締切 三月十日(金) **必着**

◇定員 三十名

◇その他

◇その他 三条教区青少年二部門を中心に、スタッフも募集中です。お気軽にご連絡ください！

まってるよ～





## 宗祖御命日のつどい

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

また、今月は「年頭会」と兼ねるため、座談会をお休みさせていただきますので、ご了承下さい。なお、前日（二十七日）はお逮夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

年頭会は出席人数を確認したいため、参加される方は前日（二十七日）までにご連絡ください。

◆日時 二月二十八日（火） 午前十時より

◆会場 三条別院 本堂

◆お勤め（御命日 日中法要）

正信偈 草四句目下

念仏讃 淘三

和讃 回口 次第六首

回向 願以此功德

◎今月の法話講師

### 海岸 秀道（三条別院輪番）

▲二月は年頭会で輪番より法話です。三月からは定例布教の法話講師に引き続き御文五帖目をテーマにお話いたします。

### ◆今後の講師一覧

二月 海岸秀道（三条別院輪番）【年頭会】

三月 橘 宗真氏（第二十組顯了寺）

四月 渡邊智子氏（高田教区本立寺）

### 春 彼岸会（予告）

本年三月十八日から二十日まで勤められる別院春彼岸会の法話講師が決定しましたのでお知らせいたします。また、十九日には釈迦礼弁当もご用意いたします。

木名瀬勝（きなせまさる）氏

茨城県水戸市浄安寺衆徒。原子力関連施設の総務や病院の事務長を経るが、人生にむなしさを感じ大谷大学真宗学科へ入学し僧侶に。東本願寺の職員となり、三重・名古屋教区駐在教導、本山研修部補導主任を歴任。現在は退職し、研修会の講師などをつとめる。



【春彼岸お斎 釈迦礼弁当— sha curry lunch box —】

フードバンクを継続中

一月の別院でのフードドライブにご協力いただいた御寺院・御門徒―  
第十七組光照寺

匿名を含め多くの方々にご協力いただき御礼申し上げます。  
次回引き取り予定日は二月二十四日(金)です。

その他の講座案内

○別院書道教室 (生徒募集中!)

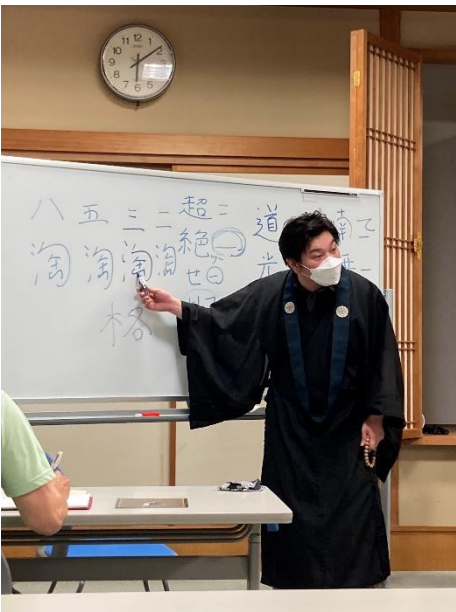
〔月二回第一、第四水曜日、午後六時三十分〜八時〕

講師 木原光威氏 (新潟県書道協会理事)

月謝三,一〇〇円 (テキスト代含む)

○別院声明教室

夜の部(二八時〜二十時)の講師は引き続き長田淨見氏(第十六組善興寺)です。昼の部(十五時〜十七時)は列座が担当します。詳しくは別紙チラシを(覧)ください。



随時募集中

○有志の会庭講「毎月十三日」

「一緒に別院のお庭を整備していきませんか?」  
毎月十時から、午後は定例法話を聴聞します。

二月は年間計画を立てます。

お気軽にご参加ください。

○有志の会花講

花講は別院の立花を、有志の会は別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。三月には春彼岸の立花を行う予定です。

○三条別院巡回

三条別院から御本尊(絵像)をお迎えして、聞法会を開催しませんか?

○別院奉仕研修について

半日の奉仕研修等にも対応しております。  
ぜひご検討ください。

【奉仕研修眞加金】

一人あたり半日(午前または午後) 五百円、一日千円

一泊二日は上記の眞加金に順じて半日五百円で計算する。

【その他実費でいただくもの】

①講師謝礼。なお、列座によるお内仏のお給仕・法話は研

修眞加金に含まれる。②シーツ等クリーニング代千円

③食事代(ご要望等)ございましたらご相談承ります。

◆◆編集後記◆◆

ついに、春ごろに新型コロナウイルスの感染症上の分類が二類相当から五類に引き下げられ、マスクが不要になるらしい。三月からいよいよ始まる慶讃法要の頃には、もしかしたら従来のにぎやかさが戻ってくるかもしれない。三条別院の諸行事もここ三年間、参詣者が減っていたが、人が増える嬉しい。「収束」という言葉とは違ふのかもしれないが、少し希望が見えてきた気がする。

そういつている私は、声明で喉が枯れるのと、インフルエンザが大流行しそうだということであ家族から注意を受け、二〇一九年十二月から先駆けてマスクをしていた。新型コロナウイルス感染症が流行する前からしていた、ということだ。経験上、マスクは保湿効果があり、喉を保護してくれるとけっこう本気で信じている。

ここ三年間で、マスクをすべきか、しないべきかという議論が散々あり、ようやくそれが「しなくてもよい」と公に言われそうな時なのに、これを外すのはなんだか勇気がある。新型コロナウイルスが明らかにした分断は、収束後もしばらく続きそうな予感がする。

そんなことを言いながら、知らない間に外して飲んだり食べたりして、楽しんでいるのかもしれない。

各組の慶讃法要に申込みをしなかったけれど、いよいよになってくると参拝してみたいと思いはじめた皆さん、三条別院でも大型バスを一台出すので、ぜひご参加ください。

(齋木)